



女性委員の状況

※ 委員は3年毎に改選。 () は委員全体に占める女性委員の割合

委員の別	前回改選時 (R2.7時点)	現行 (R5.7時点)
農業委員	4 / 10名 (40.0%)	4 / 10名 (40.0%)
農地利用最適化推進委員	1 / 16名 (6.3%)	2 / 16名 (12.5%)

女性登用の課題

- 家族の理解。
- 女性登用に関する男性農業委員や男性農業者の意識。
- 農業の担い手減少に伴う、女性農業者の減少。

女性登用の取組

- 女性農業者が所属する組織との関わりを密にし、農業委員の候補となりうる者に女性農業委員が個別に声かけを実施。
- 候補者の家族の理解を得るために、農業委員会活動の内容を家族にも説明。

取組成果・登用効果

- 平成29年から女性農業委員4名体制を維持。
- 男性同士では言いにくいことも女性委員は言える場合があり、会議が活発になった。
- 農地所有者の事情に応じて親身に相談に乗っており、農地集積に繋がるケースが増えた。
- 地域における「農地を守る意識」が強くなった。

今後の展望

(女性登用割合の維持・向上のための取組)

- 女性登用割合を高水準に保つため引き続き女性農業者が所属する組織との関わりを密にしていく。
- 女性も会長、会長職務代理者を担っており、活躍する姿を広報誌等により情報発信していきたい。
- 男女関係なく対等な意識で農業委員会活動を行うことがベストであることから、意識改革に繋がる取組を模索していきたい。

農業委員会総会の様子



女性委員の皆さん

